

- ④ 指導助言者  
義務教育課指導主事  
各教育事務所指導主事

⑤ 研修内容

- 教科の特質と学習指導
- 目標、内容、指導計画について
- 単元（題材）の指導計画の立案について
- 教材研究のし方について
- 指導技術について
- 教材の特質と指導過程の検討
- 授業の見方と評価のし方
- 授業参観と授業研究

(3) へき地教育研究指定校

① 趣 旨

本県へき地校における学力向上ならびにへき地教育に関する問題を研究し、へき地教育の改善と振興に資するため、研究学校を指定し、その成果を各へき地校に普及させる。

② 指定校と研究主題

学 校 名	校 長 名	研 究 主 題
いわき市立 田人第二小学校	西 牧 宏 樹	複式少人数学級の特性を生かした 学習指導法の研究 —豊かな表現を自覚しながら 書きすすめる作文指導—
檜枝岐村立 檜枝岐小学校	浅 野 俊 彦	へき地小規模校の特性を生かした 教育活動 —ひとりひとりが主体的に参加し、 深まりのある話し合い活動を求めて—

(4) 複式学級教材構成資料の作成

① 趣 旨

複式学級の学習効果を高めるため、年次計画により本県の実態に即した教材構成資料を作成し、教育機器の活用とあわせて学習指導の改善・充実に努め、へき地・過疎地域の教育振興を図る。

② 作成年次計画

年度	53	54	55	56	57
教科	算 数	算 数	理 科	理 科	国語・社会
領域	数と計算	図 形 量と測定 数量関係	生物・地 学関係	物理・化 学関係	

③ 作成会議

- 第1回 昭和55年4月23日～4月24日
- 第2回 昭和55年6月25日～4月26日
- 第3回 昭和55年10月6日～10月7日

④ 作成委員会及び配布

作成委員は、現場担当教師18名、教育事務所指導主事3名、義務教育課指導主事2名で構成し、複式学級構成資料（理科、生物・地学関係）を作成した。

複式学級をもつ本校・分校 136校及び複式学級 249学級に配布し、複式学級の学習指導に役立てた。

また、各教育事務所、各市教育委員会にも指導用の資

料として配布し活用を図った。

作成委員氏名

勤 務 先	職 名	氏 名
福島市立福島第三小学校	教 諭	熊 田 晴 彦
福島市立瀬上小学校	教 諭	加 藤 迪 夫
桑折町立釀芳小学校	教 諭	佐 藤 幹 夫
飯野町立大久保小学校	教 諭	込 堂 康 弘
本宮町立本宮小学校	教 諭	金 沢 陸 夫
郡山市立開成小学校	教 頭	面 川 信 博
郡山市立三和小学校	教 頭	矢 内 俊 彦
小野町立飯豊小学校	教 頭	渡 辺 勝 美
鏡石町立第二小学校	教 頭	佐久間 健
白河市立白河第一小学校	教 諭	穂 積 友 大
鮫川村立渡瀬小学校	教 頭	渡 辺 昌 三
会津若松市立鶴城小学校	教 諭	渡 部 敏 郎
会津若松市立謹教小学校	教 諭	西 村 新 六
南郷村立南郷第二小学校	教 諭	渡 部 正 人
原町市立原町第一小学校	教 諭	岩 城 正 光
富岡町立富岡第二小学校	教 頭	菅 野 茂
いわき市立三阪小学校	教 頭	吉 岡 栄 一
いわき市教育委員会	指 導 主 事	遠 藤 俊 博
福島県教育庁義務教育課	課 長	館 光 雄
	主 幹	小 林 四 郎
福島県教育庁義務教育課	主任指導主事	国 分 道 男
	指 導 主 事	富 岡 直
霊山町立大石小学校 (福島県教育庁県北教育事務所)	校 長	本 田 孝
福島県教育庁県中教育事務所	指 導 主 事	田 中 隆
福島県教育庁県南教育事務所	指 導 主 事	古 市 敏

(5) 複式学級学習指導法講習会

① 趣 旨

複式学級教材構成資料をもとに、複式学級を担当する教員及び指導者を対象として、学習指導法の講習会を開催し、複式学級学習指導改善の一助とするとともに、過疎地域及びへき地の教育振興に資する。

② 期日・会場

期 間	対 象 管 内	会 場
2月25日	南会津教育事務所	田島合同庁舎
2月26日	会津教育事務所	会津若松合同庁舎
3月2日	県南教育事務所	棚倉町立棚倉中学校
3月3日	県中教育事務所	郡山合同庁舎
3月4日	いわき教育事務所	いわき合同庁舎
3月5日	相双教育事務所	原町合同庁舎
3月9日	県北教育事務所	福島県庁西庁舎